

上越市立柿崎中学校生徒さんへの歯ブラシ贈呈 奉仕活動報告

この度、頸北ロータリークラブは青少年奉仕活動の一環といたしまして、下記の様に柿崎中学校の生徒さんに歯ブラシ贈呈の奉仕活動を行いましたのでご報告申し上げます。

記

日 時 2019年7月11日（木）13:20～
場 所 柿崎中学校 校長室
贈 呈 スリムヘッド歯ブラシ 220本
出 席 者 倉茂 章（会長） 三牧 好起（青少年奉仕委員長）

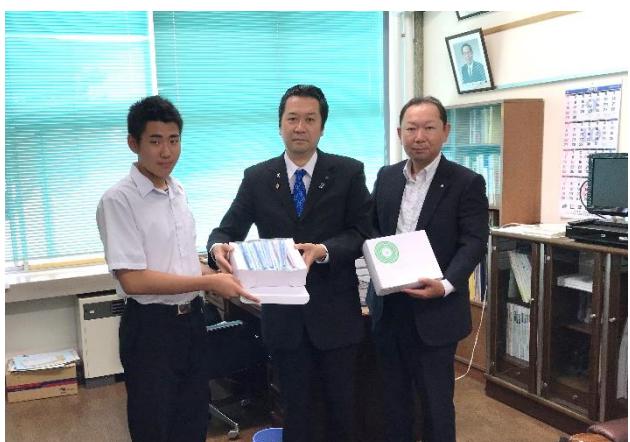
奉仕活動主旨

新潟県は12歳児のむし歯が全国一少ない県です。しかし、その代わりに歯科健診で多く指摘されるのが歯周病の初期段階の歯肉炎です。歯周病は全身疾患に係わる病気です。子供たちの健康を守るために歯みがきの重要性を理解して頂くことと、むし歯だけでなく歯周病も若い時からの予防が大切であるということを広く知ってもらう機会になればと歯ブラシを贈呈させて頂きました。

活動報告

贈呈当日は、あいにく校長先生は不在でしたが、教頭、養護教諭、保健委員会委員長の小山寛太君と面談、新潟日報の取材のもと、奉仕活動の主旨説明を行い小山君に歯ブラシの贈呈を行いました。小山君からは丁寧な歯みがきを頑張るように生徒に伝えるという言葉を頂きました。贈呈した歯ブラシには「頸北ロータリークラブ」のロゴが刻印されており、生徒たちは歯みがきをするたびに頸北ロータリークラブのロゴを目につくことになり公共イメージの向上にもつながると考えております。

報告写真



メディア報道

8/6 付けの新潟日報に記事が掲載されました。ロータリー活動の公共イメージ向上の一助になれば幸いです。



頸北ロータリークラブ（頸北RC）が柿崎中学校を訪れ、全校生徒214人に歯ブラシを寄贈した（写真）。会長の倉茂章さん（54）は「本県の中学生1年生は虫歯の数が日本で最も少ないが、歯肉炎がある生徒が多い。歯磨きの習慣を身につけてほしい」と呼び掛けた。

頸北RCの青少年奉仕活動の一環。倉茂さんは同中の歯科検診を担当しており、「歯肉炎が悪化すると歯周病になり、脳梗塞や糖尿病などの全身疾患に関わる。若いうちから予防する意識を持つてもらおう」と、歯ブラシの寄贈を決めた。

7月の贈呈式では、倉茂さんが保健委員長で3年の小山寛太君（14）に歯ブラシを手渡した。小山君は「いたいたい歯ブラシで1本ずつ丁寧に磨いて虫歯と歯肉炎を予防するよ、全校に呼び掛けたい」と感謝した。

上越・柿崎

CS Scanned with CamScanner